

巻頭言

有機ケイ素化学と産業界 猿山 俊夫 …… 1

ひとこと

シリル基の転位が拓く触媒反応 中沢 浩 …… 2

トピックス — 昨日今日そして明日のケイ素化学

ケイ素含有ピンサー型錯体を触媒とする有機合成反応の開発
鷹谷 絢、岩澤 伸治 …… 4

架橋ポリシルセスキオキサン水分離膜の開発 大下 浄治 …… 12

シリカの分解反応を利用した規則性多孔体の形状及び構造制御 岡本 昌樹 …… 15

σ 電子受容性シラン、ゲルマン、スタンナン配位子を鍵とする
切断反応の開発 亀尾 肇 …… 24

国際学会報告

50th Silicon Symposium に参加して 海野 雅史 …… 30

50th Annual North American Silicon Symposium Rungthip Kunthom …… 32

The 7th Asian Silicon Symposium 参加報告 大村 智通 …… 33

7th Asian Silicon Symposium in Nanyang への参加報告 猪股 航也 …… 35

7th Asian Silicon Symposium への参加報告 行本 万里子 …… 36

7th Asian Silicon Symposium の参加報告 大野 稜真 …… 37

7th Asian Silicon Symposium への参加報告 永田 隼也 …… 38

7th Asian Silicon Symposium への参加報告 古澤 彩夏 …… 40

第16回ゲルマニウム、スズと鉛の配位および有機金属化学に
関する国際会議 (ICCOG-GTL-16) 開催報告 斎藤 雅一 …… 42

協会賞

特異な遷移金属—ケイ素/ゲルマニウム結合を持つ錯体の
合成と性質 飛田 博実 …… 44

ケイ素及び高周期14族元素化合物に関する未踏化学の探究 時任 宣博 …… 46

技術賞

高耐熱性を有する熱伝導性シリコン材料技術の開発
小林 真吾、奥村 智之、鈴木 克之、片石 拓海、川濱 佳祐 …… 48

奨励賞

オルトケイ酸とそのオリゴマーの合成、単離および構造解析 五十嵐 正安 …… 50

シリコン R&D

アツマ(株)の受託合成サービス 村上 信仁 …… 52

株式会社カネカの研究開発 足立 大輔、山本 憲治 …… 53

モメンティブの研究開発 壁田 桂次 …… 55

シリコンスクエア — 会員の広場

化学フロンティア研究会 津留崎 陽大 …… 56

ケイ素に触れる生活 南 安規 …… 57

有機ケイ素化学と産業界

富士高分子工業（株） 猿山俊夫



私が最初に副会長を務めさせていただいたのは2000年でした。会長が荻野博先生、副会長が玉尾皓平先生という中で、不慣れな若輩者について行くので精一杯でした。2回目は2006年、吉良満夫先生が会長、田中正人先生が副会長の時でした。この時のトピックスのひとつはアジアケイ素シンポジウム(ASiS)の発足でした。日本、韓国、中国で開催地を持ち回すことは決まっていた。継続する上での懸念は運営資金でした。他国からの援助を習慣にせず、開催国で自己完結させることで合意したのは大きかったと思っています。隔年で開催され、日韓中で2巡したあと今年シンガポールで開催されたこと、喜ばしいかぎりです。

2000年当時を企業側から見ますと、シリコン産業を創出したダウコーニングとジェネラル・エレクトリックを中心に、有機ケイ素化学界への支援が世界的に続いていました。有機ケイ素化学への投資が長期的にシリコン工業を超える大きな成果となって戻ってくると期待されていたからです。ケイ素化学協会への支援も、財政・人の両方で大きかったと思います。

ただ1990年代の後半には、シリコン産業に大きな投資を続けることへの疑問も出始めていたようです。それが形となっ

て表れたのが、2006年にジェネラル・エレクトリックがシリコン事業をモメンティブに売却したことでした。シリコン産業への投資（人や設備の維持も含めて）の相対価値が低下したことを示唆していました。それ以降、国内にも世界にもシリコン産業の大きな変化があり、ついにはダウコーニングまでが変化の渦中に巻き込まれました。

有機ケイ素化学を取り巻く産業界は、ケイ素化学協会設立時から大きく変わりました。しかし、現在も将来も、有機ケイ素化学への産業界からの期待はあるはずで、それは当協会の賛助会員数や企業の正会員数からもわかります。では、産業界は何を期待しているか、はなはだ曖昧です。賛助会員で討議して提案するといった類のことではないと思っています。大学の先生方に私からご提案したいことがあります。先生方がなさっている研究が将来世の中とどのようにつながっていくか、夢を持ち、その夢を学生さんたち、そして企業の方々に語っていただきたい。経産省などが言う「出口」というよりも「夢」だと思います。この「夢」は、大学と企業の接点を作り、増やすのに有効だと私は考えています。